

<記入例>

※ 1 ページ目が記入例で、2 ページ目が提出用です。

本人記入不可

実務成績証書

1 勤務者氏名及び生年月日

氏名 免許 太郎
生年月日 昭和〇〇年 〇月 〇日生

2 良好な成績(※)で勤務した期間等

※長期の休職期間については、在職年数として認められない。

勤務期間：平成〇〇年 〇月 〇日から 平成〇〇年 〇月 〇日まで
実労働時間：〇〇, 〇〇〇時間

3 施設の概要

施設名：〇〇町立〇〇保育園（平成 27 年4月1日より 認定こども園〇〇園）

※認定こども園の場合は、構成するそれぞれの施設の名称について、すべて記載すること。

認可等年月日：昭和〇〇年 〇月 〇日

※認可外保育施設の場合は、設立年月日を記載すること。

所在地：熊本市中央区水前寺××-×

電話番号：096-×××-×××

上記の者は、本施設において、上記のとおり実務経験を有する者であることを証明する。

平成●●年●●月●●日

施設名 _____

証明者 _____

証明者（公印）

- 大学附置の国立・公立学校：大学の学長
- 大学附置以外の公立学校：市町村教育委員会
- 私立学校：理事長または設置者

※ 園長の証明不可。

• 勤務期間に長期の休職期間（育休・産休・病気休暇等）を含む場合は、余白部分に当該期間を記載すること。

（例）育休 平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日

• 現在勤務している園から証明を受ける場合、証明日より前の勤務期間を記入すること。

（例）H28.4.1 日付で理事長から証明を受けた場合、勤務期間の「_年_月_日まで」に記入できるのは、H28.3.31 までの日付。

• 上記勤務期間中の実労働時間を記入（週〇時間等と記載しないこと）

勤務していた園が認定こども園になった場合、認定こども園となった日及び現在の園名を括弧書きで記入。

- 注 1 国立学校又は公立学校の教職員は所轄庁、私立学校の教職員は学校法人にあっては理事長、それ以外の場合にあっては設置者から証明を受けること。
2 日本人学校に派遣されていた期間については、別に文部科学大臣から証明を受けること。
3 特例の対象と認められる勤務期間等（3年かつ4320時間以上）について、複数の施設における勤務時間等を合算する場合は、それぞれの施設ごとに証明を受けること。

※ 注意事項をよく読んで記入すること。

※ 証明書の内容について訂正する場合は、証明欄に押印された公印（例「〇〇市教育委員会」）で訂正印を押印すること。

実務成績証明書

1 勤務者氏名及び生年月日

氏名 _____
生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

2 良好な成績(※)で勤務した期間等

※長期の休職期間については、在職年数として認められない。

勤務期間： _____ 年 _____ 月 _____ 日から _____ 年 _____ 月 _____ 日まで
実労働時間： _____ 時間

3 施設の概要

施設名： _____

※認定こども園の場合は、構成するそれぞれの施設の名称について、すべて記載すること。

認可等年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

※認可外保育施設の場合は、設立年月日を記載すること。

所在地： _____

電話番号： _____

上記の者は、本施設において、上記のとおり実務経験を有する者であることを証明する。

年 _____ 月 _____ 日

施設名 _____

証明者 _____ 印

- 注 1 国立学校又は公立学校の教職員は所轄庁、私立学校の教職員は学校法人にあっては理事長、それ以外の場合にあっては設置者から証明を受けること。
2 日本人学校に派遣されていた期間については、別に文部科学大臣から証明を受けること。
3 特例の対象と認められる勤務期間等（3年かつ4320時間以上）について、複数の施設における勤務時間等を合算する場合は、それぞれの施設ごとに証明を受けること。